



原発のない世界を求める週間 2025

6月8日(日)～6月14日(土)



核といのちは共存できない

戦後80年 特別講演会

東京電力福島第一原子力発電所の爆発事故から14年が経ちました。多くの人の生活や生業を奪った事故は、今も収束の目処がたたないまま地域の破壊と分断を生み続け、人々の健康と安全を脅かしています。また、世界では核兵器の脅威が増しています。原発と核兵器は根本的には同じものです。

終戦から80年の今年、「原発のない世界を求める週間」の企画は原発と核兵器をともに考える特別講演会を開催します。会場での参加と、同時配信されるYouTube視聴、どちらでも参加可能、申し込みは不要です。どなた様も奮ってご参加ください。

6月14日(土) 14:00～16:00

日本聖公会東京教区 聖アンデレ教会

(YouTube 配信、要約筆記も予定)

入場無料・申込不要です。



講師：家島昌志さん

東京都原爆被害者団体協議会（東友会）代表理事
日本原水爆被害者団体協議会 代表理事

敗戦後80年にあたり、核兵器廃絶や脱原発を含めて「核といのちは共存できない」という立場にたち、被団協のノーベル平和賞受賞を受けた意義や歩みなどについて、ご自身の被爆体験や広島・長崎・ビキニの被爆の実相を交えてお話いただきます。

YouTube 配信は 聖アンデレ教会ホームページ

(<https://st-andrew-tokyo.com/>) の

「礼拝ライブ配信」をクリックすると見ることができます。



戦後80年～神と人々と世界の声に耳を傾け、平和をつくりだそう!～



原発問題プロジェクトのホームページ

<https://www.nskk.org/province/no-nuke-project/>



主催：日本聖公会正義と平和委員会 原発問題プロジェクト

